

# みのり

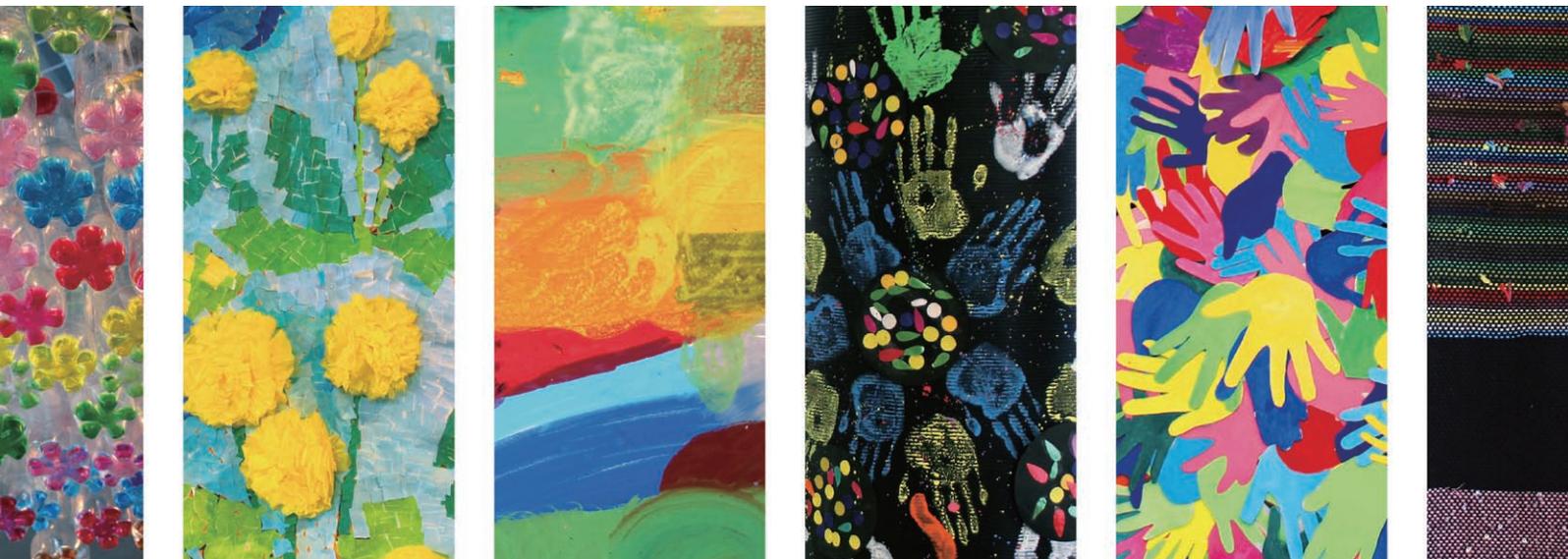
No. 102

掲載内容 2 2021年幕開け 3 作品展・働き方改革取材 4 インタビューほか 5 「70th」Anniversary 6 福祉QC研究発表会・column 7 創立記念ほか 8 お知らせ

経営理念  
Management  
Philosophy

## 花のように優しく 誠実に

私たちはみのりの精神である慈愛・奉仕・研究を基本精神とし、地域・社会より愛され、認められる法人をめざし、社会福祉事業の担い手として、地域・社会へ貢献します。



## 2021年幕開け

一昨年より新型コロナウイルスの感染が始まり、1年が過ぎようとしております。令和になり新天皇が誕生しましたが、コロナ禍で結局晴れの日を迎えられないまま今日に至っております。世の中の気候変動と併せて、今までの生活と違つた社会を創造していかなくてはならない、難しい混沌とした世情になつた感を禁じえません。

みのり村も今年は70周年という節目を迎えます。その為に色々とその準備に入り、一つずつ整理を

している所です。70周年に向けて、

一、敷地内整備（銀杏並木、桜の山、夫婦村の建物解体・整地、堆肥小屋周りの拡充、ドリーム前の石積み、日出部駐車場整備、施設入口石積み補強工事）

一、みかん倉庫新設、農園倉庫解体  
一、アクトホール新築（鉄骨平屋建て387㎡）

一、70周年誌制作、クレド制作、作品展記念誌創刊

一、就労A型事業の立ち上げ  
一、日出部入所支援施設の再編確立

以上のような事業を秋口までに終了しようとして目下準備中です。

コロナ禍に於いて、このような事業が進められている事に対してスタッフ一同には感謝の一念です。又、法人内事業所を御利用されている多くの御利用者様の中に、一人も感染者が出ていない事に対してもお礼を申したく、そしてスタッフの懸命な感染対策を施しながらストイックな自助努力に対してエールを送りたい。

やがて新型コロナウイルスは収束していくに違いありません。その時に当法人がリスタートできる様、入念な準備をして春を迎えられる様、職員一同心身ともに精進して頂きたく、そして若い世代の人達にこれらを将来に繋げていけるような基礎固めの70周年の年にしたいと願う次第です。

理事長 大木 隆



## 祈願式並びに年始『70周年に向けて』

みのり村正法寺にて、今年一年の無事故・無災害とみのり村の発展を祈念し、「新年祈願式」を役員一同で執り行いました。

続いて、みのりホールにて年始を開催しました。今年には新型コロナウイルス対策として、全職員ではなく役員のみ参加としました。役員を代表して、杵築障がい福祉部 白萩園の原田支援課長が今年の決意表明を行いました。

大木理事長より、「コロナ禍の中、役員一同気持ちを引き締めて、70周年に向けて課題に取り組んで欲しい。」と年頭の訓示がありました。

(1月3日)

### 新年祈願式

新年あけましておめでとうございます。年頭にあたり職員を代表いたしましてご挨拶を申し上げます。

昨年、障害を取り巻く制度が目まぐるしく変化する社会情勢に対応しながら「人が人を大事にする」みのり村の精神（こころ）で利用者様の支援に取り組んでまいりました。

今年には法人として節目の70周年を迎えます。それに伴い敷地内周辺が整備され、新しく「アクトホール」も完成予定です。支援の幅が広がるとともに地域福祉にもつなげていきたいと思っております。また、記念事業としてもいろいろと計画を進めております。

昨年は新型コロナウイルスの感染が全国的に行き止まりも見えない状況ですが、さらに感染防止を行い新しい生活様式の中で利用者様の命を守り安全で安心した生活を送って頂くため日々精進してまいりたいと思っております。

最後になりましたが、大木理事長におかれましては、ご健康に留意され、引き続きご指導いただきますようお願い申し上げます。今年一年みのり村に関係する皆様が多き年となりますことを願いつつ私の挨拶とさせていただきます。

令和三年一月三日

杵築障がい福祉部 白萩園  
支援課長 原田 順子



# 第16回 みのり村作品展 扉を開いて下さい～私の心を彩る世界～



「頑張るダルマ」菩提樹 ゆきユニット共同作品

令和2年11月25日(水)から11月29日(日)の5日間、大分市アートプラザで開催しました「みのり村作品展」は、関係各位のご協力をいただき無事終了することができました。

コロナ禍のなか、ご来場していただきましてありがとうございました。心から御礼申し上げます。

また、杵築障がい者芸術文化展(12月2日～7日、杵築市立図書館にて開催)において、ご利用者のクラブ活動作品10点を展覧しました。

このように多くの方々の目に触れる機会をいただき、誠にありがとうございました。



「集まれぼくたちの牧場」  
白萩園陶芸クラブ  
共同作品



「スノードーム」  
第2みのり学園共同作品



「願い～wish～」みのり村共同作品

## “みのり村の働き方改革への取り組み”が紹介されました ～3月20日放送 TOSテレビ大分「ほっとはーとOITA」～



国道213号線沿いの「えむほガーデン」での撮影

令和3年3月4日(木)みのり村本部にて、TOSテレビ大分で放送される大分県広報番組「ほっとはーとOITA」の取材を受けました。

番組では、当法人が今年度表彰をいただいた「おおいた働き方改革」推進優良企業への取り組み内容(シニア雇用や男性の育児休業など)を中心に紹介させていただきました。

今後も誰もが働きやすい職場環境づくりを進めていきます。



ママ&パパ with Holiday 休暇取得者への取材



取材を受ける大木理事

## 令和3年度入職予定者内定式



みのり村本部で今年4月入職予定の学生(9名)を対象とした内定式を行いました。内定証書を受け取る際は緊張した面持ちだった学生も、自己紹介を通して同期になる皆のことを知り、少し緊張が和らいだように見えました。4月から皆さんと一緒に働けることを心待ちにしております!

(11月14日)



フレッシュな内定者の皆さん

## INTERVIEW

### 菩提樹に来て一年

～外国人技能実習生ティンさんと  
カリンさんに聞きました～

**菩提樹に来て一年が経ちましたが、どうですか？感想を教えてください。**

ティン：緊張しました。私たちは外国人なので指示とかちゃんと聞かないと間違えたら大きな問題になるかもしれないと緊張しました。でも職員さんがとても親切で、とても感謝しています。一日の時間があっという間に過ぎます。

カリン：最初来た時は二人とも不安でした。介護の勉強のことや職員さんや利用者さんがどんな感じがドキドキしました。けど、皆さん優しいので安心しました。



**自炊をしていると聞きましたが、得意な料理はありますか？**

ティン：『アドボ』というフィリピンの料理をよく作ります。鶏肉と醤油とニンニクと玉ねぎを炒めた料理で、美味しいです。

カリン：他には卵焼きを作ります。朝は卵焼きとご飯を食べています。夜お弁当を作って、次の日のお昼ご飯に持って行っています。



ティンさん(左)とカリンさん(右)

**好きな日本の食べ物はありますか？**

ティン：巻き寿司です。

カリン：私も巻き寿司とから揚げが好きです。日本のから揚げ美味しいです。

**これからの目標はありますか？**

ティン：私は利用者さんの役に立ちたいです。

カリン：日本で働きたいです。

チャンスがあれば日本に住みたいです。

### 菩提樹施設長よりメッセージ

日本語も上達しましたね。お二人の「笑顔で優しい介護」はご利用者様も大変喜ばれています。

Salamat po (ありがとう)

Ingat ka sa trabaho (無理せず頑張ってね)





解体工事現場



倉庫解体前

## みかん倉庫解体

### 農園みかん倉庫への思い

みかん倉庫解体をするにあたり一言申し上げます。  
昭和四十九年定員五〇名で開園した特養菩提樹ですが、厨房設備も無く、食事は離れた白萩園から運搬用モノレールで運ぶシステムでした。

翌年今あるスロープが完成し、食事はリフトで一旦、二階に上げた後、運搬用台車で搬入する仕組みと成りました。

昭和五十六年定員七〇名への増床工事に伴い二階部分とスロープを結ぶ渡り廊下の工事に併せて、村の白萩農園の基幹産業であるみかん園の貯蔵庫として、現みかん倉庫と二階ホールの建設がなされ、以来四十年になります。

この建物の二階ホールは昭和六十年十一月現上皇・上皇后様の菩提樹視察（当時皇太子・同妃殿下の行啓）があり、利用者・職員一同でお出迎えをしたみのり村でも記念に残る建物でもあります。

他に菩提樹誕生会、ボランティア行事や又みのり保育園児によるお年寄りとのふれあいの場でもありました。

平成二十二年十二月旧菩提樹解体と共に、渡り廊下も同時に解体され、現みかん倉庫と二階のホール・スロープのみが、当時の面影を残すのみとなりました。

その後、約十年間、職員卓球大会や白萩絵画クラブの活動拠点とし機能して来ましたが、みのり村法人内施設整備の最終事業としての新生アクトホールとし、生まれ変われる事になるのは喜ばしい限りです。

永年、みのり村の中心にあり、村の変遷を四十年間見守ってくれたことにただ、ただ感謝の気持ちで一杯です。

令和三年三月二十二日

大石 悦生（昭和四十八年就職）

## みのり村アクトホール

### 新築工事まもなく施工

令和2年度から70周年記念事業の一つである「(仮称)みのり村アクトホール」の新築工事の準備を開始しました。

70周年記念事業は、「アート・カルチャー企画プロジェクトチーム（以下、PTという）、記念誌PT、パンフレット企画PT、クレド企画PT」の4つのPTで取り組んでいます。



70周年記念事業PT研修会



アクトホールイメージ模型

る「(仮称)みのり村アクトホール」は、ご利用者が自由に自己表現をするアクト活動の場として主に展開していきます。

また、災害時やコロナ感染時には、一時避難所として備蓄倉庫と災害時用発電機を導入した施設の整備も進めていきます。

# ユニット型特別養護老人ホーム菩提樹 福祉のICT化へ ～遠隔操作ロボット「アバター」を体験～

大分県より、「令和2年度遠隔操作ロボット「アバター」を活用した新たなビジネスモデル構築挑戦パートナー」に当法人が選定され、特別養護老人ホーム菩提樹にてアバターを使用した実証実験を行いました。

実験では、ケアマネージャーのモニタリング訪問や看護師の施設内巡回等をアバターで行い、離れた場所からでもご利用者の様子をお伺いすることができました。最新のICT技術に実務を通して体験できる貴重な機会となりました。

アバターとは、パソコンで遠隔操作し、あたかもそこに存在しているかのようにコミュニケーションをとることができるロボットです。



モニタリングの様子



「つきユニット」の発表



役職員20名が参加

## 第20回みのり村 福祉QC研究発表会 を開催しました

高齢者福祉部パブリックスペースにて、みのり村福祉QC研究発表会を開催しました。今回はコロナ禍のために全職員参加での開催は取りやめ、役職員のみ参加にて行いました。各部を代表し4グループが、福祉サービスの質の向上に向けた日々の取り組みや課題の解決の成果を発表しました。(3月5日)

施設・事業所名	チーム名	発表テーマ
菩提樹	つきユニット	「あの頃の私に…」 ～5Sで意欲向上～
日出障がい福祉部	『日出障がい福祉部栄養士』	「食を支える」 ～栄養ケアマネジメントからのアプローチ～
白萩園	チーム「ツル」	「Aさんの居場所づくり」 ～ポイントを押さえた統一支援～
高齢者福祉部	『ホームヘルプステーション ぼだいじゅ』	「資格を取ってもヘルパーにはなりたくない」 ～ヘルプステーションの役割と意味を考えてみた～

## column わたしの職場リレー紹介 vol.3

### 児童発達支援センター「プリンちゃん」

～安心して子育てができる。そんな地域づくりを目指して～

#### Q1 今の仕事の面白い部分は？

児童発達支援センターは通所支援のみでなく地域において連携を図りながら専門性を活かす役割があります。子どもたちの成長を通じて小さな変化もご家族と共に喜び合い、関わる全員が「育ちあう、ことが私たちのやりがいです。

#### Q2 今チャレンジしたいことを教えてください。

今年度よりペアレントプログラムを開始し、子どもの個性にあった子育てを親子で実現できるためのサポートに取り組んでいます。この取り組みを継続し家族支援の充実を図りながら、地域で共有される支援の質を向上させていきたいと思ひます。

#### Q3 児童発達支援センター「プリンちゃん」を今後どのようなセンターにしていきたいですか？

支援を必要とする子どもたちが地域でいきいきと、またご家族が笑顔で子育てできるための児童発達支援センターとなっていくために、ワンストップ対応を充実させていきたいと考えています。生活様式は変わっても、みんながつながる地域の核であり続けたいと思ひます。

日出障がい福祉部  
地域支援課 課長 須賀敏子



クライミングウォール



みんなでリトミック



今日は何日かな？



ロボット「バルロ」と  
こんにちは

次回は、  
「ユニット型特別養護老人ホーム 菩提樹」です。

# みのり村創立記念日並びに永年勤続者表彰



14名の表彰者

みのり村創立記念日に、勤続40年表彰1名、20年表彰2名、10年表彰11名の計14名が永年勤続表彰を受けました。表彰者の方々には大木理事長より、表彰状と記念品が贈られました。

表彰者代表として、40年表彰の白百合園 金澤尚香 養士が謝辞を述べました。  
(12月8日)

勤続	氏名	所属
40年	金澤 尚香	白百合園
20年	川村 和美	菩提樹
	生山 恭子	本
10年	鹿島 実紀	プリンちゃん
	真砂 忠	白萩園
	杉安 弘子	
	西山 恭子	
	都甲 重信	ワークセンター「誠」
	尾花 孝也	
	榮木 たまみ	菩提樹
	河野 育恵	
	安倍 紗希	
	三枝 絹美	
	田口 三稚子	風と樹々と空と ヘルパーステーション

## 永年勤続表彰受賞者謝辞

永年勤続表彰受賞者を代表致しましてひと言お礼を申し上げます。

この四〇年を振り返りました時に私の中で一番古くて大きく心に残っている事は、白百合園に指導員として入村一年目、右も左も分からない中で迷い悩んでいた時に、故大木浜子園長先生が白百合園裏庭の芝生に正座し色々とお話をして下さる中で、「大丈夫、大丈夫」と励まして下さった事です。

思えばその言葉と私に寄り添って下さった浜子先生のお姿が今までの私の支えのひとつになっていたように思います。

今でも仕事をする上で迷い悩む事は多くありますが、諸先輩や同僚職員の皆様のアドバイスやサポートを頂

きながら四〇年もの長きにわたり勤める事ができました事、皆様に感謝しておりますと共に、私から皆様へどのようなしてお返しをしていくかが今の課題であると感じています。

また、今年は今全く想像もしていなかった新型コロナウイルス感染症の流行により利用者様も職員も新しい生活様式のもと制限された生活の中でストレスも溜まりがちですが、利用者様が安心して生活できるよう細心の注意を払いながら職員の皆様と力を合わせこれからも職務に邁進していきたいと思っております。

本日はこのような表彰をして頂きまして誠にありがとうございます。  
令和二年二月八日

創立記念式

日出障がい福祉部 白百合園

金澤尚香

## 令和2年度は、法人内の各所を整備しました。

(令和2年7月〜令和3年2月)

令和2年度は、みのり村の日出拠点、杵築拠点で全9か所の整備を行いました。杵築拠点では、「銀杏並木頂上付近および桜並木整地・舗装工事」や「正門左側駐車場舗装及び遊歩道整備」などを行い、日出拠点では、ビニールハウス散水系統切替工事などを実施しました。



桜並木舗装工事



白萩園倉庫屋根改修工事



正門左側駐車場舗装

## 令和2年度 内部監査を行いました

全拠点（日出障がい福祉部・杵築障がい福祉部・高齢者福祉部）の内部監査を実施しました。

法人業務全般の質の向上、健全な運営を目指すことを目的に毎年行っています。  
(11月25日)





お知らせ

### 総合福祉ケアサポートセンター みのり村

- 特別養護老人ホーム 菩提樹(個室ユニット)
- ショートステイ事業
- 菩提樹デイ「風と樹々と空と」
- ケアプランセンター ほだいじゅ
- ホームヘルパーステーション ほだいじゅ
- 配食サービス
- 在宅介護支援センター ほだいじゅ
- えむほ ガーデン(Café m・歩っ・えん)
- 障がい者支援施設 第1みのり学園
- 児童発達支援センター「プリンちゃん」
- 障がい者支援施設 第2みのり学園
- 障がい者支援施設 白百合園
- みのりスマイル(就労)
- 総合相談支援 M・プラザ HIJ I
- 障がい者支援施設 白萩園
- ワークセンター「誠」(就労)
- みのり村 いち押し工房
- グループホーム みのり村
- 総合相談支援 M・プラザ KITUKI
- みのり村介護・福祉タクシー
- 菩提樹まちかど交流サロン「福ろう」  
(平成27年4月～令和2年6月)
- 認知症カフェ ふくろう茶屋  
(平成28年1月～令和2年6月)

障がい児から就労、そして  
老後までの安心トータルサポート

## 公益財団法人老人はげみの里見会様より 車いす3台と 電動ベッド1台を 寄贈していただき ました。



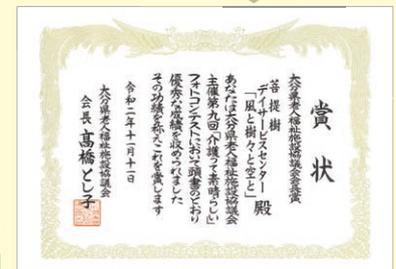
## 大分県老人福祉施設協議会会長賞 『歳の数ほど飛んで行け』

第9回

「介護って素晴らしい」  
フォトコンテスト  
2作品が受賞!



入賞



### 編集後記

法人の敷地内に60本の河津桜の木が植えられました。2月上旬から3月上旬までの一か月間が開花時期と言われる早咲き桜です。河津桜がご利用者や職員、地域の人たちへ春の訪れを教えてくれる日が今から待ち遠しいです。ちなみに桜の種類を調べると全部で380種類あることを初めて知りました。春になって桜を見に行く機会があれば、色々な種類を見つながら楽しめたいと思います。春がますます好きになりそうです。



(広報担当)

編集・発行／本部人事企画課

〒873-0013  
大分県杵築市大字日野1921の7  
TEL 0978-66-1200  
FAX 0978-62-2974  
URL <http://www.minorimura.or.jp/>  
メール [info@minorimura.or.jp](mailto:info@minorimura.or.jp)

※写真掲載等には、  
ご本人の了解を得て  
おります。



## 『就活情報誌 BeCAL』 『シティ情報おおいた2月号』 に掲載していただきました

